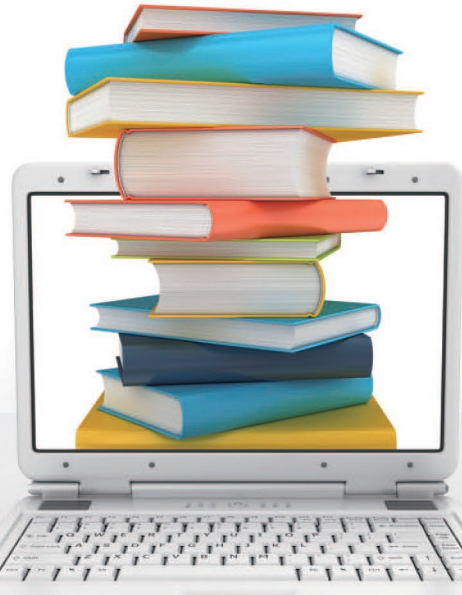


# 研究会技報を 予約しませんか

技術研究報告（技報）は、研究会表予稿をとりまとめた資料です。速報性が高く、論文に掲載される前の新しい技術の種（シーズ）が沢山詰まっており、研究や開発に参考となる情報が満載です。年間予約（研究会単位でも可）をすると、開催ごとにお手元に郵送されますが、研究会にご参加の際は、会場で受け取ることも可能です。また、通信ソサイエティでは、ソサイエティ活性化と会員の利便性の向上を目的として、技報電子化・オンライン化サービスを開始しました。このサービスでは、冊子体の発行にあわせて掲載技報のPDFを、オンラインシステム上で閲覧できます。



## 技報オンラインサービスの利点

- 速報性**  
研究会開催の1週間前から閲覧できます  
※ 技報の発行日は開催日の1週間前に設定されています
- 広範性**  
併催相手の研究会の技報を予約していなくても50回/年まで閲覧できます
- 幅広い利用**  
年間予約等でお届けしている技報（冊子体）を常時閲覧できる方は皆様でご利用いただけます

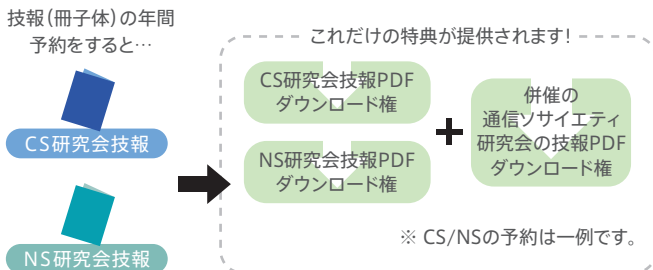
## 技報オンラインシステムにユーザ登録をしましょう

本サービスを利用するには、まずユーザ登録が必要です。それぞれのユーザ登録後に年間予約者番号と関連付けて申請を行うことで、研究室などのグループ単位でも利用可能となります。



※ 発表者はStep-3が不要です。

## 技報年間予約の特典としてPDFダウンロード権を提供します



## ダウンロード範囲、期間、回数について

範囲	2006年度～現在までの発行済み技報PDFをダウンロードできます。
期間	当年度の年間予約に対して、翌年度の5月末まで閲覧できます。
回数	前年度の原稿数の2倍の回数までダウンロードできます。 ※ ダウンロードに失敗した場合でも、7日以内は再ダウンロードが可能です。

※ 2010年10月より、実運用サービスに移行いたします。既に技報電子化トライアルにご参加の皆様は、手続きなしに継続してご利用いただけます。

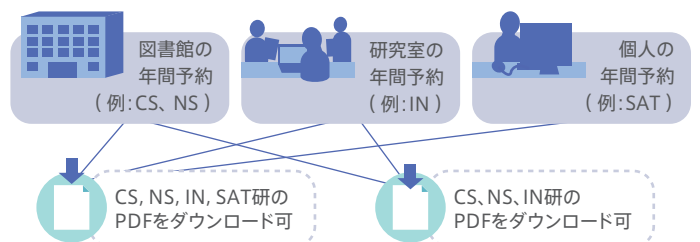
## 開催プログラム／講演検索結果のPDFアイコンからダウンロードできます

技報年間予約者は、年間を通じて、開催プログラム画面、講演検索結果画面上のPDFアイコンをクリックして技報PDFをダウンロードできます。発表者は、開催日の前後7日間、技報PDFを閲覧できます。



## 図書館／研究室の技報年間予約の特典をシェアできます

技報（冊子体）を閲覧できる方は、そのダウンロード権をご利用いただけます。



**ご利用方法、詳細資料について** 年間予約のお申し込み、技報オンラインシステムの詳細につきましては、下記URLをご参照ください。

研究会技報の年間予約方法について

<http://www.ieice.org/jpn/books/kenkyuuhoukoku.html>

技報オンラインシステム（登録画面）

<https://www.ieice.org/ken/user/>

※ ダウンロードした技報PDFの2次利用(Web掲載や再配布)はご遠慮ください。  
※ 複数人で利用する場合は、それぞれ個々にユーザ登録をしていただき、年間予約者番号に関連付けて申請をしてください。  
※ 本サービスは通信ソサイエティの第1種研究会を対象として実施されています。